

Voices



ヴォーリスだより



特集

検査科でできる各種検査の紹介について

巻頭言

「就任のご挨拶」

公益財団法人 近江兄弟社

ヴォーリス記念病院

看護部長 増田 繁美

地域療養支援部長 神 千草子



Vol. 146

2020年9月発行

基本理念

キリスト教の「隣人愛」と「奉仕」の業を、医療を通して実践します。

— 私たちは、基本理念を大切にします。 —



就任のご挨拶 「ナイチンゲール看護論を理念に」



看護部長 増田 繁美

令和2年2月1日より新看護部長に就任いたしました。これまで長年にわたり看護部でご尽力されてきた岡田幸子前看護部長には、慰労の意を表させていただきたいと思っております。これからさらに地域に貢献できる病院・看護部となりますよう、微力を尽くして参りたいと思っております。

私は平成7年10月より当院に勤め、今年の秋には26年目を迎えます。入職当時の看護部長に「あなたの看護観は？」とツッカーハウスの応接室で尋ねられたことを覚えています。それまで私は呼吸器・循環器内科で急性期の経験しかありませんでした。ICU・CCUがない施設だったので、救急から直接病棟へ患者を受け入れるため救急・急変対応も多く、それでも当時は2人夜勤の配置でした。また、この頃は患者層も高齢化していないので、日常生活援助は自立の方が殆どです。看護とは何かを深く考えることもなく時間を過ごしてきた私にとって、このヴォーリズでの看護は「看護とは何か」を考える年月となりました。

2年前、当院は創立100周年を迎え、創立者の思いに立ち、働く人それぞれの使命と理念について考える機会がありました。創立者であるウィリアム・メレル・ヴォーリズの療養の処方箋は、「1. 新鮮なる空気を昼夜用いること、2. 十分なる睡眠、3. 滋養分に富みたる適量の食事、4. 清潔簡素なる生活、5. 主イエスに全身全霊を託したる信仰生活、6. 少量の服薬」とあります。一方、看護部の看護原理としているフローレンス・ナイチンゲール看護思想では、「看護とは、新鮮な空気、陽光、暖かさ、清潔さ、静けさを適切に保ち、食事を適切に選択し管理すること―すなわち、患者の生命力の消耗を最小にするようすべてを整えること」とあります。当院看護部のアイデンティティについて考える中で2つの思想を改めて見つめ直し、見事に一致する2つの考え方に感銘を覚えました。このナイチンゲール看護論を看護原理とすることは、看護の本質を追い求めるための手がかりとなるものであると確信しています。

今年はナイチンゲール生誕200年記念になります。新型コロナウイルス感染症が拡大する中だからこそ、考え、見えてきたものがあると思います。結核療養院から始まった当院のケアは、差別的な扱いを受けていた結核患者の尊厳を守り、生活の質を保ち、全人的にケアされていきました。その当時のケアは、時代が変わり病気が変わっても通じる普遍的なものだと思います。新型コロナウイルス感染症により、当たり前の生活が奪われ、生活の質について再認識できた今、看護部がナイチンゲール看護論を胸に歩むことの大切さを痛感致します。また、地域医療構想における地域包括ケアシステム推進に向けて、当院は在宅療養支援病院としての役割を果たさなければなりません。看護は「その人らしさを大切に全人的な看護・介護を提供します」と理念に掲げているように、人々に寄り添い、「暮らし」を大切に考えていきたいと考えています。今後とも、どうぞよろしくごお願い致します。



就任のご挨拶 「この地域に根差した ヴォーリズの想いを継承して」



地域療養支援部長 神 千草子

2019年4月に地域療養支援部が立ち上がり、前任の岡田部長より引き継ぐ形で、今年4月より部長に就任いたしました神千草子と申します。

私は30年近く当院看護部に所属しておりました。2016年4月に看護師による退院支援・退院後支援の充実に向け、3名の看護師で在宅療養支援課を発足し、それと同時に以前より地域連携室で医療・介護相談、退院支援等を行っていた経験豊富な相談員とともに患者支援センターとして活動が始まりました。

そして昨年、①企画渉外課（病院の広報活動や経営企画を担当）と統合し、②病・病診連携課（入退院支援・病診連携を担当）、③訪問診療科（今年4月より新たな看護師を導入）の3本柱で活動しています。

皆様もご存知の通り、創立者であるW. M. ヴォーリズが102年前の開設した結核療養所はヴォーリズ記念病院の前身です。その時代、日本は肺病（結核）によって沢山の人のいのちが奪われていました。まだ治療方法が無かっただけでなく、療養する環境すら整っていなかった時代です。ヴォーリズは療養所開設の10年以上前の大正元年に発行された《湖畔の声》にこのような言葉を書き残しています。「ヨーロッパでは漸減しているにも関わらず、我日本では非常に多くの人がこの病気のために苦しんでいると聞き、大変悲しく思う。」「年間13万3千人、1時間あたり15人に1人が亡くなっている。」「故に先ず吾々は、肺病の恐るべき蔓延防止のために研究、救助に力を注ぎたいのです」と。そして多くの仲間と一緒に、結核を患い社会から閉ざされた人々の身体と心を癒す環境をこの地、近江八幡に「近江療養院」として開設し、想いを実現されたのです。

時代の流れの中で当院の役割も大きく変わりました。私が知るこの30年間でも結核病棟の閉鎖、介護保険制度の開始とともに、敷地内には介護施設や介護サービス部門が立ち上がり、沢山の方々に利用いただく里となりました。

ヴォーリズ氏が近江療養院を開設し、結核治療やケアと同時に、周辺地域を巻き込んだコミュニティを形成しながら予防のための啓蒙活動を行ってきたように、少子高齢化の現在、地域包括ケアシステム構築に向けて、当院の担う役割はとて大きいと感じています。

地域療養支援部では、ひとりひとりの価値観や信条“人となり”を大切に「その方にとっての最善」を目指していきます。また、皆様の声に耳を傾けながら、何ができるかを常に考え、この地域での医療・介護・福祉のハブ病院として、貢献できるように活動の幅を広げていきたいと思っています。

どうぞご支援よろしくお願い致します。

検査科でおこなっている各種検査で生理検査の種類をご紹介します。

生理検査では、心電図、負荷心電図、心臓超音波、頸動脈超音波、下肢静脈超音波、血圧脈波、肺機能、簡易PSG、眼底カメラ、眼圧、ホルター心電図、ホルター血圧心電図をしています。

昨年11月から検査科で技師による下肢静脈超音波検査を始めました。

今回、下肢静脈超音波検査について紹介させていただきます。

下肢静脈超音波検査

目的は、**深部静脈血栓症の早期発見**です。

深部静脈血栓症とは、**足から心臓へと血液を戻す血管（静脈）に血液の塊（血栓）ができてしまう病気**です。

超音波で、ふくらはぎ、膝裏、太ももや下腹部の静脈に血栓がないかを調べます。

検査時間は30分～60分です。

ほとんど痛みを伴いません。



エコー装置vivid S70GE(ルカスジャパン)(株)

下腹部や太もも、膝裏を走る深部静脈に血栓ができた場合、重症となってしまいます。

血栓が足の静脈から心臓や肺に向かって流され、肺の血管に詰まった場合、肺塞栓症を引き起こします。

右図に使用している超音波検査装置と当検査科でみられた下肢静脈の血栓画像を表示します。

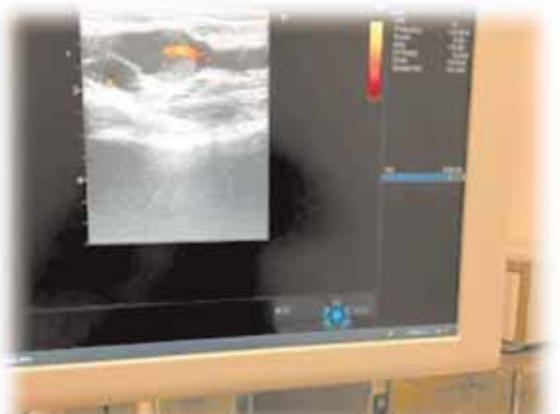
深部静脈血栓症の症状は片方の足全体やふくらはぎが急に赤黒く腫れあがり痛みがあらわれます。

治療としては抗凝固剤を用います。

詳しいことは、日本血管外科ホームページまたは“血管の病気（血管病）について”を検索して下さい。



大腿静脈にある血栓（一部浮遊）



膝窩静脈分洞部の血栓



循環器疾患の症状と予防と改善

医師 馬淵 尚子

日本人の約4人に1人が心疾患と脳血管疾患で亡くなっているだけでなく、要介護者の約5人に1人は脳血管疾患が原因ですので、循環器疾患は、私たちの健康な生活に影響の大きい疾患群です。

予防のためには、脳血管疾患や虚血性心疾患の危険因子である高血圧、脂質異常症への対策が重要です。塩分を1日6g以内に抑え、動物性脂肪を控え、魚や野菜、大豆製品、食物繊維を積極的にとり、体重を適切に保ち、飲酒は適量に抑える、禁煙し、適度に運動するなどの普段の生活習慣の改善を心がけ、定期健診などで血圧や脂質、血糖値などをチェックしましょう。

ストレスへの対策も大切です。ストレスは交感神経を緊張させて血圧を上昇させ、副腎皮質ホルモンの分泌を増やしてコレステロール濃度を高め、血糖値を上昇、血液を濃くすることより動脈硬化による病気を起こしやすくします。また、ストレスをためると暴飲暴食、睡眠不足など、生活習慣の悪化や規則正しい生活の乱れをきたして高血圧や循環器疾患の要因ともなります。対策としては、休養したり、趣味を持ったり、運動することも欠かせませんが、第一は、自身でストレスに気づくことです。ストレスを完全に取り除くことは簡単ではありませんが、ストレスによってもたらされた悪い生活習慣を是正し、環境を整えることで悪影響を減らすことができます。



認知症 — 失われる中でも残るもの —

1病棟 看護師 丸山 理子

認知症は誰でもなる可能性がある病気です。2025年には高齢者の約5人に1人が認知症になるといわれています。

認知症に対するイメージはさまざまであると思いますが、「話を理解できない」「何をしても忘れてしまう」などマイナスのイメージが多いと思います。確かに、時間や場所、人など、今まで覚えていたことを忘れてしまい、できていたこともできなくなっていく中、できることもあるということを忘れないでほしいです。今までしていたことがうまくいかないこともあります、何かしようと行動されたことを否定しないでください。なぜなら、できることを続けることによって、心身の回復は早くなるといわれているからです。できないことを周囲がサポートしながら、できることを続けていく、そんな環境づくりが大切です。

また、認知症の方がとられる行動に対して、「どうして?」と思われることも多くあると思います。そのようなときは、何をしようとされたのか、それまでにご本人が発したメッセージはなかったか、その行動の裏側にある気持ちはどうか、ご本人の目線から考えてみましょう。認知症は、脳のはたらきが遅くなるため、受けた情報を処理する力も遅くなります。また、残された力に合わせた情報しか受け取れず、自分の気持ちや意思をうまく表現することが難しくなります。そのため、話はポイントをしばって伝えたり、言葉を簡単なものやわかりやすい表現にしたりすることで、話が理解しやすくなるのです。

認知症の方の記憶は失われても、感情は残っていきます。「大事にしてもらえた」と思ってもらえるような関わりが認知症の方の安心感につながります。認知症の方やその方を支えるご家族が安心して過ごせるように、病院としても支えていきたいと思っています。



ヴォーリスとクラブハリエの関係

管理栄養士 坂本 陽介

近江八幡を代表する菓子店「クラブハリエ」。バウムクーヘンを始め、色とりどりの菓子達は、人々に喜びと楽しみ、季節の変化を感じ、実りの喜びも与えてくれます。クラブハリエの魅力と言えば、菓子もそうですが、建物も有名です。特に日牟禮カフェでは、ヴォーリス建築のアンティークな雰囲気のお部屋でお茶とお菓子を楽しむことができ、居心地の良い空間は定評があります。

なぜ、ヴォーリス建築なのか？そこには意外なヴォーリスとクラブハリエの関係性がありました。クラブハリエの基ができたのは1951年のことです。当時、たねやの近所に住んでいたヴォーリスとたねやの山本脩次氏は親交が深く、家族ぐるみのお付き合いだったそうです。そのような中で、山本脩次氏は、ヴォーリスの勧めで洋菓子の製造を開始しました。これがのちの「クラブハリエ」の基となりました。



ホームページで、社長の山本隆夫氏は、会社の根幹は「人」であり、菓子を通して幸せの気持ちを届けることの大切さを語っておられます。東日本大震災では被災者に菓子を届けたいという事を社長が話すと、様々なスタッフから賛同する声があがり、終業後に菓子を作って、スタッフが車を出して被災地まで届けていたそうです。当院でもコロナウイルスによる緊急事態宣言で切迫する中、お菓子を頂きました。

当院の基本理念には「隣人愛と奉仕の業を医療を通して実践します。」とあります。クラブハリエにとっては、奉仕の業は菓子作りであり、病める人々にも菓子作りを通して幸せの気持ちを届けておられます。我々の医療という奉仕の業は違えど、隣人愛と奉仕の精神という意味では同じではないでしょうか？

また、社長は、クラブハリエの成長は木の成長と同じと語っておられます。木の根っこは人であり、人がいるから木が生え、葉ができる。企業の根幹は上でも述べた「人」であり「人」から木や葉、つまり「お菓子」ができる。全ては人から始まり、人によって地盤（会社）が固まり、木、葉、果実（お菓子）が実ると。「たねや（種）」から始まったクラブハリエが「バウムクーヘン（木）」を作り、今ではリーフパイ（葉）もあります。お菓子に込められた思いとこだわりを感じます。次は果実で銘菓が出来るのかと期待が湧きます。

ヴォーリス記念病院の隣にはラコリーナ近江八幡があります。奇しくもヴォーリスに縁のある者通しがお隣で事業を展開しています。これにはヴォーリスと山本脩次氏の導きを感じます。菓子作りと医療、道は全く違いますが、向かうところは同じ。互いに切磋琢磨してより多くの人々に幸せを届けられればと思います。

管理栄養士ようちゃん
おすすめ！

自宅で簡単♪「バウムクーヘン」



<材料-6人分->

- 【生地】
- ・ホットケーキミックス 240g
 - ・卵 4個
 - ・砂糖 80g
 - ・牛乳 200cc
 - ・バニラエッセンス 適量
- 【アイシング】
- ・粉砂糖 50g
 - ・バター 7g
 - ・熱湯 10ml

<作り方>

- ①【生地】の材料をボールに入れて混ぜ合わせる。
- ②アルミホイルで棒を作って油を付ける。
- ③卵焼き器に油を引き、少量の生地を流し込んで②の棒を置いて巻いていく。
- ④繰り返し少量ずつの生地を流し込んで巻いていき、程よい大きさになったら火を止めて、棒を抜く。
- ⑤【アイシング】のバターを電子レンジで溶かし、砂糖を入れて少し混ぜてから、熱湯を加えて混ぜる。
- ⑥バウムクーヘンの側面に⑤を塗って完成

バウムクーヘン

幾層にも焼き重ねた姿が樹木の年輪に似ていることから、結婚式や祝いの引き出物としてもよく見かけるバウムクーヘン。調べると、意外にもドイツのお菓子で、クリスマスケーキとして食べられていたそうです。名称もやはり樹木の年輪に似ていることから、ドイツ語で Baum（バウム）＝木、Kuchen（クーヘン）＝菓子と付けられました。

今回は自宅でもできる簡単なバウムクーヘンを紹介させて頂きました。BBQで棒に付けてクルクルと焼いていくのも、お子様も喜ばれて楽しいですよ。是非、一度お試しください。

医師紹介

緩和ケア

奥野 貴史 (おくの たかふみ)

【大学卒業年】 1997年 滋賀医科大学

【専門分野等】 専門分野：緩和ケア

専門医等：総合内科専門医 日本緩和医療学会認定医・研修指導者
日本血液学会専門医 日本消化器病学会専門医
日本消化器内視鏡学会専門医 感染制御医師 (ICD)

【読者に向けてコメント】

今、私が生きているこの瞬間は、偶然の積み重ねなのか、必然の積み重ねなのか。ホスピスで働きだして、必然の積み重ねなのだ、と確信するようになりました。

つい、最近の話ですが、ある患者さんが退院されるにあたり、お住まいの地域のクリニック、訪問看護ステーションに紹介状や指示書を書きました。数日して、ホスピスに、どこかで見たような文字で書かれた手紙が届きました。遠い昔、私が担当した患者さんが、そのステーションの管理者になっておられたのです。手紙には、『どこかでみた字だなあ、と思って指示医師の欄をみたら先生でした。先生はいつも手書きの用紙で説明してくれましたね。』と、ありました。

手書きの説明用紙は私にとって必然です。研修医時代の師がそうしていたからです。きっと師にもこんな瞬間があったのかも知れません。その必然の積み重ねが、偶然にもこの瞬間を生み出してくれたのだと思います。そんな必然と偶然の出会いを運命と呼ぶのかもしれませんが。

私がホスピス医になったのは、さまざまな選択肢を、その都度、自分の信念に従って選んできた結果です。ホスピスの師、細井順先生は「人は生きてきたように死んでいく。」とよく話されます。患者さんの目線に立った医療をする、という信念を貫き、必然を積み重ねて生きていこうと思っています。



チャプレンだより⑧

団扇

チャプレン 中村 信雄

夏から秋に思い出す風があります。病院のチャプレンとして仕え始めた頃のことです。ある方をお訪ねするとベッドにちょこんと座り、いつも飴ちゃんをくださいました。お部屋を出ようとすると同じ話を始められます。一人で生きる淋しさがありました。

ある日、お部屋に何うと笑顔で迎えてくれました。遠方に嫁いだ娘さんが夏祭りの団扇を送ってくださったのです。その団扇で私を仰いでくださいました。優しく涼やかな風でした。しばらくしてお部屋を出ようすると、「これに入れて送ってくれたの」、そう話されました。普通の封筒でした。喜びを抑えきれず、手で破った跡がありました。年老いた母親にとって封筒すら宝物だったのです。受け取ったのは、娘さんの精一杯の愛だと気付きました。

天に召されたとき娘さんが会いに来てくださいました。いつも飴ちゃんをくださったこと、団扇を喜ばれていたこと、封筒すら宝物だったこと、そして娘さんの愛を確かに受け取っておられたことをお伝えしました。涙を流されていました。親も子も言葉にならない思いを携え人生を歩みます。神様はその親子の絆を永遠に守ってくださるのです。そして堪えきれない涙をあの優しい涼やかな風がそっと拭い去ってくれると信じています。



病院からの お知らせ

◆糖尿病及び生活習慣病教室のお知らせ

シリーズで偶数月の木曜日に糖尿病、生活習慣病に関して、実際の食事をご用意し、病気の知識や治療法に関しての教室を開きます。詳しくは管理栄養士か外来看護師あるいは担当医師にお尋ねください。

日時 2020年10月22日(木) 12:00~13:30

場所 新館研修室(病院内)

講師 理学療法士

※主治医の指示のもとに参加できますが、あらかじめお申込みが必要です。



近江八幡市介護予防拠点事業

◆ 2020年度 ヴォーリズ介護予防教室のご案内

テーマ：「高齢者のこれからの生活に対する不安の解決」(年間5回・木曜日開催)

回数	月日	担当	内容	講師予定
3	9/24	在宅サービス部門	「指先の機能の衰え予防 ～気分転換に遊んでみませんか～(仮)」	ヴォーリズ居宅介護支援事業所 介護支援専門員 坂井 円 氏 石井 直子 氏
4	11/26	ヴォーリズ老健センター	「自宅でできる簡単体操」	ヴォーリズ老健センター 理学療法士 織部 優生子 氏
5	2/25	ヴォーリズ記念病院	「高齢者の食生活について(仮)」	ヴォーリズ記念病院 管理栄養士 坂本 陽介 氏

－ 日程、講師など変更の場合もございます。最新情報をホームページでご確認ください。－

- ①対象者 おおむね65歳以上の方 定員：15名
※新型コロナウイルス感染症に対する感染予防に配慮して人数制限をしております。
- ②場所 アンドリュース記念館(旧Y M C A会館) ※近江八幡市為心町中31番地(近江八幡教会の隣)
- ③開催時間 14:00 ~ 16:00
- ④参加費 無料
- ⑤申し込み 往復ハガキで ①住所 ②氏名 ③年齢 ④連絡用電話番号 を記入の上
〒523-0806 近江八幡市北之庄町492 ヴォーリズ記念病院内
介護予防教室係 まで (単月の申し込みも受付します。)



【お問い合わせ】 ホームヘルプステーション ヴォーリズ
担当 中上 (TEL: 0748-32-7130 / FAX: 0748-36-5458) まで

地域療養支援部受付

患者様やご家族様に住み慣れた生活の場で、安心して療養し生活を送って頂けるようサポートします！

- ・健康保険、介護保険等の社会保障制度について
- ・在宅での生活、介護についての不安
- ・施設の入所や利用について
- ・地域の病院、開業医の皆様からの受診、入院依頼

お気軽にご相談ください。 ※部屋は正面玄関入って左側でございます。

TEL (0748) 32-5211 (代) / FAX (0748) 36-5412 (直)

【人間ドック、健診についてのお問い合わせ】

医事課2番窓口にお越し頂くか、お電話(0748-36-5467)下さい。

※受付時間：月～土曜日 13:00～17:00(祝祭日は除く)

〒523-8523 滋賀県近江八幡市北之庄町492

電話：0748-32-5211(代表)

FAX：0748-32-2152(代表)

*シャトル(無料送迎)バスあります。

●編集後記●

コロナの影響により「新しい生活様式」が求められています。皆様は健やかに過ごしてでしょうか。表紙の写真は、当院の礼拝堂です。すがすがしい秋空のように、皆様のお心が晴れることをお祈り致します。

【編集・発行】 公益財団法人 近江兄弟社 ヴォーリズ記念病院 企画渉外課

公益財団法人 近江兄弟社 ヴォーリズ記念病院